

第9回（令和7年度第1回） 羽曳野市本庁舎建替整備に関する意見聴取会 会議録

1. 日 時 令和7年8月26日（火）10時～11時30分

2. 会 場 羽曳野市役所 別館3階会議室

3. 出席者 （敬称略・区分別五十音順）

| 区分 | 氏名 | 所属・役職等 |
|---------------|-------|--------------------------|
| 学識経験者 （座長） | 関川 華 | 近畿大学 建築学部建築学科 准教授 |
| 学識経験者 | 和泉 大樹 | 阪南大学 国際学部 国際観光学科 教授 |
| 市民団体 | 音川 佳世 | 羽曳野市身体障害者福祉協議会 会長 |
| 議会 | 竹本 真琴 | 羽曳野市議会 公共施設建設整備特別委員会 委員長 |

4. 欠席者

- ・風呂谷 幸蔵 羽曳野市連合区長会 会長
- ・原 誠 羽曳野市商工会 会長

5. 傍聴者 2名

6. 次 第

- ・「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書（案）」にかかるパブリックコメントについて
- ・令和7年度の予定について

7. 資 料

- ・資料1 羽曳野市本庁舎建替整備実施設計及び工事施工公募型プロポーザルについて
- ・資料2 今後のスケジュール

8. 事務局

- ・羽曳野市 総務部管財用地課庁舎整備推進室
（・株式会社 三菱地所設計）

9. 内 容

1. 開会

■事務局より開会の挨拶。

2. 資料確認

■事務局より資料確認

3. 次第1

■次第1「羽曳野市本庁舎建替整備基本設計図書について」、事務局より動画及び基本設計図書を用いて基本設計概要を説明。

4. 質疑応答

◆関川委員

- ・ 意見聴取会を長期間開催されていなかったため、記憶を呼び起こすために説明頂いたものと理解したが、過去に協議された周辺計画含めて確認することとした。委員の皆様からも何かあればご意見いただきたい。

◆和泉委員

- ・ 市民の方と観光客を含む古墳を見に来られた方が交流できる空間を検討していただきたいことを提言してきたが、どのように計画に盛り込まれているかを確認させていただきたい。ソフト面で検討されていることであれば今回の説明で触れられなかったということも理解するし、市役所機能を最優先に整備しなければならぬことも承知しているが、忘れられることが無いようにしていただきたい。

■事務局

- ・ 市民の方と来訪者が交流できる空間として6階、外構及び1階、屋上を考えている。どのような仕組みを考えるかは基本設計者を交えたワークショップを開催し、市民の方と共に検討したいと考えている。

◆和泉委員

- ・ 市民向けに情報発信する際は、市民の方が理解しやすく、市民の日常生活の延長として理解できる説明になるよう配慮いただきたい。

◆関川委員

- ・ 本日欠席の原委員が過去の意見聴取会の中で提言されていたアクセスの安全性に関する議論については如何か。グリーンストリートを車道が横断するため、歩行者の安全面を懸念されていた。また観光バスの停車スペースを3台確保されていますが、少ないのではないかと提言されていた。

■事務局

- ・ 敷地東面からの車の進入口を南側へ移設させた場合、（敷地内に十字路が発生し）駐車場から南へ抜ける車と交錯するため危険性が増すものと判断した。
- ・ 観光バスの停車可能台数は今後観光局等と話し合い、精査する必要があるが3台で計画した。観光バスは終日停車することではなく、また毎日停車することもないものと考えている。なおバスが停車しない日については一般車に駐車利用いただくことを計画している。

◆関川委員

- ・ 駐車スペースを3台とした算出根拠を説明できるようにしていただいた方がよいものとする。おそらく市民の方も気にされる方がいらっしゃるものと予想している。観光バスなので流動的に利用されることについては理解しますが、当時の原委員の意図としては、市役所が観光拠点となり、周辺地域の施設のハブとなることと、路上駐車等の交通問題を解消させることを合わせた提言でしたので、それを踏まえた回答を用意いただくと宜しいものとする。駐車場計画については、供用開始後も含めて計画を精査する必要があると思うので、継続的に検討いただきたいと考える。

5. 次第2

■次第2「羽曳野市本庁舎建替整備実施設計及び工事施工公募型プロポーザルについて（令和7年1月公告分の中止について）」、事務局より説明。

6. 質疑応答

◆和泉委員

- ・ 今回のような参加辞退や不調といったことは世間でも起こり得ることなのか。合わせて深刻度について共有頂きたい。
- ・ サウンディング結果を踏まえて技術者配置要件を見直し、緩和を行うことを説明されたが、緩和することは現実的にあり得るのか。

■事務局

- ・ 他自治体による公開情報によると、昨今は不調となる事例を見かける。公共事業は公平性を担保するため、随意契約できないことも不落不調が散見される理由と考える。
- ・ 技術者配置要件の緩和について、優秀な技術者を配置することを基本とするが、本計画は4年間の長期に渡るため、新築工事期間は経験豊富な技術者を配置し、外構工事しか実施しない時期は別の技術者を配置すること等を検討しており、これを緩和としていた。

◆和泉委員

- ・ 基本設計図書の内容が現在の情勢に即していないとすれば問題があるものと考ええる。説明の中で基本設計内容については変更しないことを方針とされていたが、基本設計の内容は問題ないという理解で良いか。

■事務局

- ・ 基本設計をもとに実施設計を行うので、基本設計の内容をまったく変えてしまうというわけではない。また昨今の不調が散見される件については、不調となったことについて危機感を感じている。その中で技術者の配置や金額に関する調整を行っている。

◆竹本委員

- ・ 基本設計図書を見たが、仕様書としての内容が多かった印象を受け、計画の全容を理解しがたかった。多様な媒体との調和や、学生、市民に開かれた庁舎等のコンセプトを全面に打ち出してもらった方が事業者選定時に伝わりやすいものと感じた。公告時にはコンセプトを広く発信してもらいたいと考える。
- ・ プロポ中止を受けて、議会でも昨今の情勢として理解されているが、一方で頻繁にあるものと認識されても困ると考える。市としては厳しい財政状況という事情がある一方で、事業者としても利益を確保できる見込みが立たなければ受注できないという事情もあるので、その部分のネゴシエーションをしてもらいたい。また不調になってしまったことは不可抗力とも思う。現在すでに事業候補者とサウンディング等を行っているが、再度プロポーザルを行うに当たって改めて材料費や施工費等に関する協議を行うことになるものと予想する。その中で設計内容に変更を加えることも必要になるものと考ええる。設計変更することで工事費を減らすことは可能か。また設計変更が可能であれば、現在検討されていることを教えて頂きたい。
- ・ 再公告を行うに当たって、これまで想定していた工期が変更されることになるが、どの程度変更されるかを確認したい。

■事務局

- ・ 市民に開かれた市役所としてアピールすることは市長の意向としても同様であり、広報誌やYouTube等を用いて発信することを考えている。
- ・ 基本設計内容を変更することは可能と考える。現在RC造で計画されている構造形式について、昨今の情勢を踏まえて構造形式を変更することも考えている。
- ・ 想定工期について、サウンディング結果を踏まえて設計期間及び工事期間それぞれ変更することも考えている。

◆竹本委員

- ・ 価格調査、検証を行っていただいた上で安全性を最優先にしつつも工事費を抑える検討を進めていただきたい。
- ・ 工期に関して、すでに市民へは竣工時期を提示しているので、大きな変更があると混乱を招きかねない。また引越し業者の手配等へも影響が考えられる。事業者選定と共に早期に市民へ発信いただきたいと考える。

■事務局

- ・ 承知した。

◆関川委員

- ・ 先ほどの議論において、構造形式によってライフサイクルコストが変わるものとする。インニシャルコストを下げた分、次の建て替え時期が早くなるようなことがないように長期的な視点をもって検討を進めて頂きたい。
- ・ サウンディング調査結果に関する説明について、内容は理解したが、1月の公告時に参加表明された事業者へは辞退理由をヒアリングされたか。

■事務局

- ・ 辞退理由のヒアリングは実施した。予定価格を超えたことと技術者の確保が困難であったことを主な理由として挙げられていた。

◆関川委員

- ・ 前回の事業者選定において、VE 提案を受けたが9割ほどの提案に対して、デザイン性が損なわれる恐れがあるという理由で不採用とした経緯があった。辞退理由の予定価格を超えたことと合わせると、基本設計の内容が現在の経済情勢に合っていないのではないかということを疑問に思う市民がいることが考えられる。市民の方へは丁寧に説明頂いた方がよいものとする。
- ・ 工期について、国の助成金を利用するためスケジュールに制約があったものと記憶しているが、再公告に向けた新たなスケジュールを示していただきたい。

■事務局

- ・ VE 案については実施設計の中で協議の上、受け入れることを検討する。
- ・ 本事業では緊急防災・減災事業債という地方債の活用を予定している。今年度中に工事着手することを条件とされていたが、最近行った協議の中で、今年度中に契約締結できれば緊防債を活用できることを確認した。よって今年度末に契約締結することを目標に進めている。

◆関川委員

- ・ 基本設計内容については、微修正ではなく本質的な変更をしていただきたいと思います。

7. 次第3

■次第3「その他」、事務局より今後のスケジュールを説明。

8. 質疑応答

- ・ 特に無し

◆関川委員

- ・ 全体通してその他意見が無いことを確認。

9. 閉会

◆関川委員

- ・ 議事はすべて終了したので、意見聴取会を終了する。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。
- ・ 座長より進行を事務局に返却

■事務局

- ・ 閉会の挨拶

以上